

令和5年度 一般入学者選抜の選抜・評価方法

学校番号 6

千葉県立千葉工業高等学校 全日制の課程 電子機械科

1 期待する生徒像

本校の教育方針を理解し、将来工業技術者として活躍する意欲と能力のある生徒で、本校の電子機械科を志望する動機及び目的が適切な者。かつ、スポーツ活動・文化活動・ボランティア活動・生徒会活動等について、本校入学後も意欲的に活動する意志のある者。

2 選抜資料

(1) 学力検査	5教科の学力検査の得点
(2) 調査書	中学校の校長から送付された調査書
(3) 学校設定検査（面接）	受検者1名・評価者3名の面接 検査時間：3分程度

3 評価項目及び評価基準

(1) 学力検査〔500点満点〕

評価項目	評価基準
ア 5教科の得点合計	5教科（各教科100点満点）の合計500点満点で評価する。
イ 個々の教科の得点	各教科の得点のうち15点以下がある場合は、審議の対象とする。

(2) 調査書〔170点満点〕

アの数値に、エについて加点（上限35点）したものを調査書の得点とする。

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	各教科の評定の全学年の合計値に $K=1$ を乗じた数値で評価する。 評定1又は未評価の教科がある場合は、審議の対象とする。
イ 出欠の記録	3年間の欠席日数の合計が30日以上ある場合は、審議の対象とする。
ウ 行動の記録	○の数が0または1つの場合は、審議の対象とする。
エ 特別活動の記録・部活動の記録・特記事項	学級活動、生徒会活動、学校行事における実績、部活動、その他の活動で特に積極的に取り組んだと認められる記述については加点する。
オ 総合所見	特に優れた内容と認められる記載がある場合には、総合的に判定する際の参考とする。

(3) 学校設定検査（面接）〔90点満点〕

3名の評価者が、次の3つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、a（特に優れている）、b（標準的である）、c（問題がある）の3段階で評価する。3名の評価者による、評価項目ごとの評価の組合せ（aaa～ccc）で得点化する。cccの評価の組合せがある場合は、審議の対象とする。

評価項目	評価基準
ア 志望動機及び目的	当該学科を志望する動機及び目的が明白かつ適切である。
イ 意欲	高校生活への意欲が見られる。
ウ 態度・表現方法	面接態度や言葉遣い、表現方法が適切である。

4 選抜方法

(1)選抜の方法

「学力検査の得点」、「調査書の得点」及び「学校設定検査（面接）の得点」を全て合計した「総得点」により順位をつけ、選抜のための資料を慎重に審議しながら、募集人員までを入学許可候補者とする。

<総得点の満点の内訳>

学力検査 の得点	調査書の得点		学校設定検査の得点	総得点
	評定 (K=1)	加点	面接	
500点	135点	35点	90点	760点

(2)その他

自己申告書が提出された場合には、選抜資料に加える。ただし、提出されたことにより、不利益な取扱いはしない。

5 その他

過年度卒業者については、学校設定検査終了後、別途個人面談を行う。

令和5年度 一般入学者選抜の選抜・評価方法

学校番号 6
千葉県立千葉工業高等学校 全日制の課程 電気科

1 期待する生徒像

本校の教育方針を理解し、将来工業技術者として活躍する意欲と能力のある生徒で、本校の電気科を志望する動機及び目的が適切な者。かつ、スポーツ活動・文化活動・ボランティア活動・生徒会活動等について、本校入学後も意欲的に活動する意志のある者。

2 選抜資料

(1) 学力検査	5教科の学力検査の得点
(2) 調査書	中学校の校長から送付された調査書
(3) 学校設定検査（面接）	受検者1名・評価者3名の面接 検査時間：3分程度

3 評価項目及び評価基準

(1) 学力検査〔500点満点〕

評価項目	評価基準
ア 5教科の得点合計	5教科（各教科100点満点）の合計500点満点で評価する。
イ 個々の教科の得点	各教科の得点のうち15点以下がある場合は、審議の対象とする。

(2) 調査書〔170点満点〕

アの数値に、エについて加点（上限35点）したものを調査書の得点とする。

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	各教科の評定の全学年の合計値に $K=1$ を乗じた数値で評価する。 評定1又は未評価の教科がある場合は、審議の対象とする。
イ 出欠の記録	3年間の欠席日数の合計が30日以上ある場合は、審議の対象とする。
ウ 行動の記録	○の数が0または1つの場合は、審議の対象とする。
エ 特別活動の記録・部活動の記録・特記事項	学級活動、生徒会活動、学校行事における実績、部活動、その他の活動で特に積極的に取り組んだと認められる記述については加点する。
オ 総合所見	特に優れた内容と認められる記載がある場合には、総合的に判定する際の参考とする。

(3) 学校設定検査（面接）〔90点満点〕

3名の評価者が、次の3つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、a（特に優れている）、b（標準的である）、c（問題がある）の3段階で評価する。3名の評価者による、評価項目ごとの評価の組合せ（a a a～c c c）で得点化する。c c cの評価の組合せがある場合は、審議の対象とする。

評価項目	評価基準
ア 志望動機及び目的	当該学科を志望する動機及び目的が明白かつ適切である。
イ 意欲	高校生活への意欲が見られる。
ウ 態度・表現方法	面接態度や言葉遣い、表現方法が適切である。

4 選抜方法

(1)選抜の方法

「学力検査の得点」、「調査書の得点」及び「学校設定検査（面接）の得点」を全て合計した「総得点」により順位をつけ、選抜のための資料を慎重に審議しながら、募集人員までを入学許可候補者とする。

<総得点の満点の内訳>

学力検査 の得点	調査書の得点		学校設定検査の得点	総得点
	評定 (K=1)	加点	面接	
500点	135点	35点	90点	760点

(2)その他

自己申告書が提出された場合には、選抜資料に加える。ただし、提出されたことにより、不利益な取扱いはしない。

5 その他

過年度卒業者については、学校設定検査終了後、別途個人面談を行う。

令和5年度 一般入学者選抜の選抜・評価方法

学校番号 6

千葉県立千葉工業高等学校 全日制の課程 情報技術科

1 期待する生徒像

本校の教育方針を理解し、将来工業技術者として活躍する意欲と能力のある生徒で、本校の情報技術科を志望する動機及び目的が適切な者。かつ、スポーツ活動・文化活動・ボランティア活動・生徒会活動等について、本校入学後も意欲的に活動する意志のある者。

2 選抜資料

(1) 学力検査	5教科の学力検査の得点
(2) 調査書	中学校の校長から送付された調査書
(3) 学校設定検査（面接）	受検者1名・評価者3名の面接 検査時間：3分程度

3 評価項目及び評価基準

(1) 学力検査〔500点満点〕

評価項目	評価基準
ア 5教科の得点合計	5教科（各教科100点満点）の合計500点満点で評価する。
イ 個々の教科の得点	各教科の得点のうち15点以下がある場合は、審議の対象とする。

(2) 調査書〔170点満点〕

アの数値に、エについて加点（上限35点）したものを調査書の得点とする。

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	各教科の評定の全学年の合計値に $K=1$ を乗じた数値で評価する。 評定1又は未評価の教科がある場合は、審議の対象とする。
イ 出欠の記録	3年間の欠席日数の合計が30日以上ある場合は、審議の対象とする。
ウ 行動の記録	○の数が0または1つの場合は、審議の対象とする。
エ 特別活動の記録・部活動の記録・特記事項	学級活動、生徒会活動、学校行事における実績、部活動、その他の活動で特に積極的に取り組んだと認められる記述については加点する。
オ 総合所見	特に優れた内容と認められる記載がある場合には、総合的に判定する際の参考とする。

(3) 学校設定検査（面接）〔90点満点〕

3名の評価者が、次の3つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、a（特に優れている）、b（標準的である）、c（問題がある）の3段階で評価する。3名の評価者による、評価項目ごとの評価の組合せ（aaa～ccc）で得点化する。cccの評価の組合せがある場合は、審議の対象とする。

評価項目	評価基準
ア 志望動機及び目的	当該学科を志望する動機及び目的が明白かつ適切である。
イ 意欲	高校生活への意欲が見られる。
ウ 態度・表現方法	面接態度や言葉遣い、表現方法が適切である。

4 選抜方法

(1) 選抜の方法

「学力検査の得点」、「調査書の得点」及び「学校設定検査（面接）の得点」を全て合計した「総得点」により順位をつけ、選抜のための資料を慎重に審議しながら、募集人員までを入学許可候補者とする。

<総得点の満点の内訳>

学力検査 の得点	調査書の得点		学校設定検査の得点	総得点
	評定 (K=1)	加点	面接	
500点	135点	35点	90点	760点

(2) その他

自己申告書が提出された場合には、選抜資料に加える。ただし、提出されたことにより、不利益な取扱いはしない。

5 その他

過年度卒業者については、学校設定検査終了後、別途個人面談を行う。

令和5年度 一般入学者選抜の選抜・評価方法

学校番号 6

千葉県立千葉工業高等学校 全日制の課程 工業化学科

1 期待する生徒像

本校の教育方針を理解し、将来工業技術者として活躍する意欲と能力のある生徒で、本校の工業化学科を志望する動機及び目的が適切な者。かつ、スポーツ活動・文化活動・ボランティア活動・生徒会活動等について、本校入学後も意欲的に活動する意志のある者。

2 選抜資料

(1) 学力検査	5教科の学力検査の得点
(2) 調査書	中学校の校長から送付された調査書
(3) 学校設定検査（面接）	受検者1名・評価者3名の面接 検査時間：3分程度

3 評価項目及び評価基準

(1) 学力検査〔500点満点〕

評価項目	評価基準
ア 5教科の得点合計	5教科（各教科100点満点）の合計500点満点で評価する。
イ 個々の教科の得点	各教科の得点のうち15点以下がある場合は、審議の対象とする。

(2) 調査書〔170点満点〕

アの数値に、エについて加点（上限35点）したものを調査書の得点とする。

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	各教科の評定の全学年の合計値に $K=1$ を乗じた数値で評価する。 評定1又は未評価の教科がある場合は、審議の対象とする。
イ 出欠の記録	3年間の欠席日数の合計が30日以上ある場合は、審議の対象とする。
ウ 行動の記録	○の数が0または1つの場合は、審議の対象とする。
エ 特別活動の記録・部活動の記録・特記事項	学級活動、生徒会活動、学校行事における実績、部活動、その他の活動で特に積極的に取り組んだと認められる記述については加点する。
オ 総合所見	特に優れた内容と認められる記載がある場合には、総合的に判定する際の参考とする。

(3) 学校設定検査（面接）〔90点満点〕

3名の評価者が、次の3つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、a（特に優れている）、b（標準的である）、c（問題がある）の3段階で評価する。3名の評価者による、評価項目ごとの評価の組合せ（aaa～ccc）で得点化する。cccの評価の組合せがある場合は、審議の対象とする。

評価項目	評価基準
ア 志望動機及び目的	当該学科を志望する動機及び目的が明白かつ適切である。
イ 意欲	高校生活への意欲が見られる。
ウ 態度・表現方法	面接態度や言葉遣い、表現方法が適切である。

4 選抜方法

(1)選抜の方法

「学力検査の得点」、「調査書の得点」及び「学校設定検査（面接）の得点」を全て合計した「総得点」により順位をつけ、選抜のための資料を慎重に審議しながら、募集人員までを入学許可候補者とする。

<総得点の満点の内訳>

学力検査 の得点	調査書の得点		学校設定検査の得点	総得点
	評定 (K=1)	加点	面接	
500点	135点	35点	90点	760点

(2)その他

自己申告書が提出された場合には、選抜資料に加える。ただし、提出されたことにより、不利益な取扱いはしない。

5 その他

過年度卒業者については、学校設定検査終了後、別途個人面談を行う。

令和5年度 一般入学者選抜の選抜・評価方法

学校番号 6

千葉県立千葉工業高等学校 全日制の課程 理数工学科

1 期待する生徒像

本校の教育方針を理解し、将来工業技術者として活躍する意欲と能力のある生徒で、本校入学後、理工系大学等への進学を目指し、工学の基礎とそれを支える科学技術を学び、意欲的に学習に取り組む意志のある者。かつ、スポーツ活動・文化活動・ボランティア活動・生徒会活動等について、本校入学後も意欲的に活動する意志のある者。

2 選抜資料

(1) 学力検査	5教科の学力検査の得点
(2) 調査書	中学校の校長から送付された調査書
(3) 学校設定検査（面接）	受検者1名・評価者3名の面接 検査時間：3分程度

3 評価項目及び評価基準

(1) 学力検査〔500点満点〕

評価項目	評価基準
ア 5教科の得点合計	5教科（各教科100点満点）の合計500点満点で評価する。
イ 個々の教科の得点	各教科の得点のうち15点以下がある場合は、審議の対象とする。

(2) 調査書〔170点満点〕

アの数値に、エについて加点（上限35点）したものを調査書の得点とする。

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	各教科の評定の全学年の合計値に $K=1$ を乗じた数値で評価する。 評定1又は未評価の教科がある場合は、審議の対象とする。
イ 出欠の記録	3年間の欠席日数の合計が30日以上ある場合は、審議の対象とする。
ウ 行動の記録	○の数が0または1つの場合は、審議の対象とする。
エ 特別活動の記録・部活動の記録・特記事項	学級活動、生徒会活動、学校行事における実績、部活動、その他の活動で特に積極的に取り組んだと認められる記述については加点する。
オ 総合所見	特に優れた内容と認められる記載がある場合には、総合的に判定する際の参考とする。

(3) 学校設定検査（面接）〔90点満点〕

3名の評価者が、次の3つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、a（特に優れている）、b（標準的である）、c（問題がある）の3段階で評価する。3名の評価者による、評価項目ごとの評価の組合せ（aaa～ccc）で得点化する。cccの評価の組合せがある場合は、審議の対象とする。

評価項目	評価基準
ア 志望動機及び目的	当該学科を志望する動機及び目的が明白かつ適切である。
イ 意欲	高校生活への意欲が見られる。
ウ 態度・表現方法	面接態度や言葉遣い、表現方法が適切である。

4 選抜方法

(1)選抜の方法

「学力検査の得点」、「調査書の得点」及び「学校設定検査（面接）の得点」を全て合計した「総得点」により順位をつけ、選抜のための資料を慎重に審議しながら、募集人員までを入学許可候補者とする。

<総得点の満点の内訳>

学力検査 の得点	調査書の得点		学校設定検査の得点	総得点
	評定（K＝1）	加点	面接	
500点	135点	35点	90点	760点

(2)その他

自己申告書が提出された場合には、選抜資料に加える。ただし、提出されたことにより、不利益な取扱いはしない。

5 その他

過年度卒業者については、学校設定検査終了後、別途個人面談を行う。